

平成24年第2回川崎市議会定例会

請願陳情文書表

(その2)

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
46	24. 6. 25	鹿島田駅西部地区第1種市街地再開発事業における歩行者デッキに関する請願	幸区 鹿島田のデッキ計画を考える会 ほか2名	山崎直史 かわの忠正 東正則 竹間幸一 松川正二郎	平成19年4月の都市計画により建設を予定されている歩行者デッキについて、現在は、JR南武線高架事業が動き始め、横須賀線武蔵小杉駅が開業し、総合病院の誘致も無くなるなど、かなり状況の変化があり、歩行者デッキの本来の目的からかい離し、公共性が無くなってきました。約14億円の巨費を投じて建設予定となっていますが、決定から5年経過後の現在は、利用者数の減少・近隣の交通量などの状況が大きく変化していると考えられるため、どの地域の人が何名くらい利用すると想定しているか及びその根拠を明らかにしてほしいです。また、ばく大な無駄遣いと推測されるため、利用者が限られてしまう市が負担する2か所の歩行者デッキの建設の中止を含め検討し、歩道整備充実を図っていただくようお願いいたします。	まちづくり委員会

受理番号	受理年月日	件名	請願提出者	紹介議員	要旨	付託委員会
47	24. 6. 26	あまりにひどい計画内容が明らかになった旧県立川崎高等職業技術校跡地への警察官舎建設計画について、官舎敷地内の「庭」の部分7,610㎡を縮小するなど現行計画を見直し、県有地を有効活用して、防災機能を備えたスポーツ広場・運動広場の整備を求める意見書を県及び県警に上げていただくことを求める請願	中原区 旧職業技術校グラウンド利用スポーツ団体	猪股美恵 大庭裕子	<ol style="list-style-type: none"> 1 少年野球もサッカーもできない、「大きい地域開放型公園」と言えない公園 2 7,610㎡の「庭」で警察職員の子どものだけの遊び場づくりは許されない 3 「敷地半分は地域のために利用を」との町会要望の無視は許されない 4 「適正な施設規模や配置にとどめる」とした前知事の意向の無視は許されない 5 日照や圧迫感などへの近隣住民の怒りを受け止め、敷地いっぱいの宿舎見直しを 6 切迫する首都直下地震に備えて、オープンスペースの確保・防災機能を 7 市議会「意見書」で要望された説明責任を果たさないままの強行は許されない 8 「従来宿舎がなかった土地に新規建設しない」という国の方針に逆行。「県有施設を原則廃止」と言いながら、警察官舎の新規建設は理解できない <p>上記の問題点と住民要望を盛り込んだ意見書を県知事及び県警本部長に上げていただき、同跡地での現行の警察官舎建設計画を見直して、県有地を有効活用し、防災機能を備えた運動広場・広い公園を確保するよう努めることを強く求めるものです。</p>	総務委員会

受理番号	受理年月日	件名	請願提出者	紹介議員	要旨	付託委員会
48	24. 6. 26	国に「新たな大気汚染公害被害者救済制度」の創設を求めることに関する請願	川崎区 川崎公害病患者と 家族の会 ほか86団体	浅野文直 菅原進 織田勝久 竹間幸一 松川正二郎 猪股美恵	<p>平成19年(2007年)から始まった市の「成人ぜん息患者の医療費助成制度」の認定者は5,000人を超え今なお増えつづけ、東京都でも平成20年(2008年)8月から始まった「東京都大気汚染に係る健康障害者に対する医療費の助成に関する条例」の認定者は65,500人を数えています。</p> <p>このような中で東京都議会は全会派一致で平成23年(2011年)3月に「大気汚染の根本的な原因は、国の自動車排出ガス規制の遅れにあり、国の責任として、調査研究等の更なる推進のみならず、健康被害防止のための有効な対策や健康被害を受けた者への救済策を講じていく必要がある」として国に意見書を提出しています。</p> <p>市議会におかれましても、国に対して「新たな大気汚染公害被害者救済制度」の創設を求める意見書を提出していただきますよう請願いたします。</p>	健康福祉 委員会

陳 情 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
7 9	24. 6. 20	「(仮称)小杉町二丁目開発計画」に関する陳情	中原区 小杉の住環境を守る会 ほか72名	「住みよいまちづくり」を標ぼうする市が、事前に住民の意向を確かめることなく策定し、過日、まちづくり局から説明がなされた「(仮称)小杉町二丁目開発計画」では、住宅地域最南端の旧日石社宅跡地に、200m近い巨大超高層マンションを2棟も建設するという内容ですが、周辺環境を著しく破壊し、地域住民に種々の被害をもたらすことが明白なため、地域住民はこぞって反対を表明していますので、住民の意向を尊重し、この無謀な計画を即刻、見直していただくことを陳情いたします。	まちづくり 委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
80	24. 6. 26	平2丁目9の地点に、横断歩道など、遠回りしないで安全に渡れる対策を求める陳情	宮前区在住者 ほか103名	<p>平2丁目9の地点は丁字路の先端です。神木本町から初山へ向かう旧バス道路を隔てて、向かい側にヤマダ電機の側面に沿った歩道があります。この歩道にはかなり長いガードレールが設置されていて、平2丁目9の地点から歩道に渡ることはできません。</p> <p>この地点は、歩行者の数も多く、高齢者の利用度の高いところでは、ヤマダ電機ができる前からあった道で、横断歩道ができ当然の箇所なのに、できたのはヤマダ電機駐車場利用者専用の横断歩道だけで、歩行者が困っています。改善をお願いします。</p>	市民委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
81	24. 6. 26	「認可外保育事業の再構築」の策定下に於いて地域保育園の有効活用と公費負担の在り方の具体的な見直しを求める陳情	高津区 川崎市地域保育園連絡協議会	<p>平成23年度に当協会の提出いたしました「地域保育園既存施設の有効活用と地域保育園に対する公費助成に関する請願」では全会一致の趣旨採択をいただき、大変感謝しております。「認可外保育事業の再構築」の策定が具体的に行われている現状で、重ねて地域保育園の存在意義、役割とその重要性を再確認していただき、積極的に活用する議論をお願いするために以下、陳情いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> （仮）川崎型認定保育園に移行するに当たっては、かわさき保育室・おなかま保育室・川崎市認定保育園・川崎市地域保育園を認可外保育施設としての役割を同等に扱い、一定の基準の下に速やかに移行するよう検討を行うこと。 （仮）川崎型認定保育園として認定する基準と指導監督基準を明らかにし、認定された園への公費助成は公平にするよう検討を行うこと。 次期保育基本計画策定時には、認可保育所の新規増園だけでなく、（仮）川崎型認定保育園を子育て支援と待機児童対策の両面から、更に積極的に活用することを検討すること。 	市民委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
82	24. 6. 26	「(仮称) プラウド元住吉Ⅲ計画」事業者による工事被害及び問題を早急に解決・解消するために、川崎市議会及び川崎市からの指導を強く求めることに関する陳情	中原区在住者	「(仮称) プラウド元住吉Ⅲ計画」建設工事による被害及び問題を早急に解決・解消するよう、事業者への市議会及び市からの指導を強く求めます。	まちづくり委員会
83	24. 6. 26	「(仮称) 小杉町二丁目開発計画」に関する陳情	中原区在住者 ほか13名	「(仮称) 小杉町二丁目開発計画」のA地区、B地区に建設予定の高層マンションについて日照、風害、景観の観点から、建物高さを190mよりも低くしていただけるようお願いいたします。	まちづくり委員会
84	24. 6. 26	「(仮称) 小杉町二丁目開発計画」に関する陳情	中原区在住者	54階建てのタワーマンションの建設に、断固反対します。地元住民の利益を考えた建設内容への変更を要求します。	まちづくり委員会